(和光市の現在(いま)をうつつしだす) 各委員の意見に対する決定事項

委員名	意見の概要	和光市史編さん委員会決定事項
1 寄口昌宏 委員	別紙2-1のとおり	指摘のとおり修正する。
2 中蔦裕猛 委員	特になし	
3 宮瀧交二委員長は、佐々木寛司監修者とともに、各委員の意見を取りまとめながら意見をいただきます		
4 鈴木敏弘 委員	別紙2-2のとおり	市史編さん委員会決定事項のとおりです。
5 小柳一彦 委員	P69 健康づくり NHK のラジオ体操が樹林公園で行われたことに触れてもよいと思う。	P96 の「和光市で開催されるスポーツ事業」に加えます。
	P93 マラソンの川内優輝選手が交通の便の良さや練習環境の良さを求めて市内に移り住んだことの紹介を入れて欲しい。	「スポーツ選手の活躍」の項の P100 に加筆します。
	P148 取組とともに、SDGs の視点からみた和光市の課題についても触れた方がよいのではないのでしょうか。	「令和 12 年度を目標年度とする第 5 次和光市総合振興計画基本構想では、その実現に向けて、あらゆる施策の推進に当たり SDGs を意識し、全世界的な課題も含めた様々な課題解決に取り組んでいきますとしている。それを踏まえ、第 3 次和光市環境基本計画では市民・事業者・行政が協働してそれぞれの役割を担いつつ、和光市の環境を守り、育み、未来につなげていきますとしている」と追記します。
6 田中明 委員	P2 下段後ろから4行目 合計三人 → 三氏	「、富沢実と、合計三人が → 、富澤実の三人が」に変更します。
7 田中俊 委員	別紙2-3のとおり	市史編さん委員会決定事項のとおりです。

<p>8 伊藤芳夫 委員</p>	<p>P108 本文5行目 駅名は、「やまとまち」ではないか</p> <hr/> <p>駅周辺の開発による変貌を見て取れる写真の掲載を多くしてほしい。</p>	<p>大和町になったのは、昭和18年であり、昭和9年に駅ができたときは「にいくら駅」です。</p> <hr/> <p>適正なか所に、駅周辺の変遷が分かるような写真を掲載します。</p>
<p>9 川曲幸生 委員</p>	<p>意見ではないが、これだけ詳しく理解できる人は行政に携わっていなければ、専門分野があるわけでもない一般市民はなかなか分からないのではないかと。私は読み入ってしまった。</p> <p>写真・図版等で分かりやすさも変わってくるので、今の段階では、誤りは分からず、詳しくも特にない。</p>	<p>市民の感想として受け止めます。</p> <p>深く読んでいただいて、引き込まれた感じられる感想でしたので、写真・図版を加えることで、より分かりやすくしたいと思います。</p>
<p>10 佐々木好評 委員</p>	<p>P39 14行目 令和三年(三〇二一)は、二〇二一が正しい。</p> <hr/> <p>P34 和光ブランド認定商品一覧の表が大きすぎる</p>	<p>指摘のとおり修正します。</p> <hr/> <p>表は削除し、本文中に認定商品名を記載します。</p>
<p>11 牧田忍 委員</p>	<p>別紙2-4のとおり</p>	<p>市史編さん委員会決定事項のとおりです。</p>
<p>12 佐々木寛司 委員</p>	<p>字句の修正等については、ほぼ意見のとおり修正します。</p> <p>もっと詳しく記載した方が良くと思われる部分の指摘については、別紙2-5のとおりです。</p>	<p>市史編さん委員会決定事項は、別紙3に反映しています。</p>
<p>事務局</p>	<p>別紙3のとおり</p>	<p>各委員及び事務局の意見の市史編さん委員会決定事項は、別紙3に修正されています。</p> <p>赤字は修正・加入するか所、青字は削除するか所です。</p>

委員名 寄口 昌宏

「和光市の現在（いま）をうつしだす」の意見に対する決定事項

項目	ご意見・ご要望	原稿該当ページ
記載内容の誤りの指摘 記載内容の誤りの指摘	上段15行目 柴崎→柴崎	P6
	上段最終行 ■■→わびあ	P16
	おろし金の内容(特徴) スムーズ→スムーズが一般的	P34
	上段17行目 すすむため→すすめるため	P37
	下段3行目 令和三年年→令和三年	P39
	下段18行目 、市内民→削除する	P42
	下段最終行 「PA」「SA」→「パーキングエリア（PA）」「サービスエリア（SA）」	P44
	上段3行目 距離が離れた→遠くなった	P53
	下段6行目 ⑥⑧⑦→⑦⑧⑨ ④の1字ぶら下げが設定されていない	P65
	上段6行目 ワンストップで出産・子育て→出産・子育て	P74
	上段1行目 涯学習→生涯学習	P86
	上段18行目 創出、五つの施策→創出の五つの施策	P89
下段3行目 アーバンアクア公園内の和光スポーツアイランド→ 和光市アーバンアクア公園（愛称：和光スポーツアイランド）	P94	

	下段12行目 四月にオープンし→四月に全面オープンし 下段15行目 東京ドーム二面分→東京ドーム約二個分	P94
	上段後ろから4行目 令和2年(2020)→令和元年(2019) 上段後ろから3行目 八回→七回	P96
	下段12行目 データー→データ	P102
	上段本文9行目 和光市駅の発展→和光市域の発展	P108
	上段最終行 26パーセント→26ポイント 下段後ろから5行目 朝霞市、新座市、志木市→朝霞市、志木市、新座市	P110
	上段本文15行目 区市町村→市区町村	P113
	下段10行目 ～→から	P114
	下段11行目 氷川八幡神社→下新倉氷川八幡神社	P124
記載内容の誤りの指摘	下段4行目 農村地帯がほろがっていた→農村地帯が広がっていた	P125
	上段17行目 ラモナ・レバー→ラモナ・リーバー	P128
	下段8行目 福島原子力発電所→福島第一原子力発電所	P137
	上段1行目 反日→半日	P145
	下段20行目 埼玉県なの累積感染者数は→埼玉県の累積感染者数は	P158
	下段1行目 政令指定都市ではないため、単独の保健所を所有していないため→単独の保健所が設置されていないため	P159
	下段11行目 和子市民→和光市民	P159

項 目	ご意見・ご要望	原稿該当ページ
もう少し詳しく 記載した方が 良いと思われる 部分の指摘	<p>4行目 銅メダル→銀メダル</p> <p>ほかに和光市民として濱田選手、山田選手が金メダリストなので次のように修正してください。</p> <p>多田修平選手(陸上))が出場した。このうち濱田選手と山田選手が金メダルを獲得し、自転車競技女子オムニウムでは、本市で生まれ育った梶原悠未選手が銀メダルを獲得した。</p>	P100

項 目	ご意見・ご要望	原稿該当ページ
記載内容に合 わせた掲載写 真・図版等の意 見・要望		

「和光市の現在（いま）をうつつしだす」の意見に対する決定事項

項目	意見・要望	和光市史編さん委員会 決定事項
	<p>前回の文化財保護委員としての考古学の専門的な意見と要望から、今回は和光市民としての立場で、和光市の現在(いま)をうつつしだす」についての意見と要望について、卑見を述べたい。</p> <p><u>1. 市政の担い手と方向性</u></p> <p>歴代首長として各市長の市政に対する概要は、市民が選挙によって選出した結果を反映した政策の継続と思う。40数年前から和光市民として生活してきたが、各市長のそれぞれの時代に対応した政策が示されていると感じ時代の変化を知ることができた。</p> <p>続く総合振興計画の変遷をたどると、市庁舎・文化センターの建設から、新たなる和光に期待の大きい広沢複合施設整備・運営事業、行政改革の歩み、の後に和光市議会と選挙の変遷が続くが、地方自治の主体は市民の選挙により選出される市議会議員による市政が核心である。19頁の「市政が正しく運営されているかどうか状況を把握し、問題点を指摘することも市議会の重要な仕事である。」との指摘の通り、以上8～18頁の後の記述ではなく、各市長の政策との対応で、歴代議会活動の概要が必要と思う。</p> <p>19頁から市議会の概要と選挙の変遷に、議員定数の削減経過だけでは、市議会の構成と各期の活動経過(歴史)を知ることができず、市史の記述から市民の選んだ市議会議員の市議会史を全く知ることができない内容である。地方自治としての市政を担当する市長と市議会の関係は、良い例と思わないが、今回の市長選挙への経緯だけでも知ることができる。議会を構成する市議会選挙の結果の党派・会派別の構成や歴代議長名程度は、少なくとも表示でも掲載すべきと、市民の立場から考えている。</p> <p>筆者の転居した45年前の1975年から、1979年の最初の市議会選挙の際と記憶しているが、失礼ながら各自治体単位の旧大和町時代の町議選の印象があった。その後は西大和団地や後にシーアイハイイツ自治会推薦の議員が選出され、近年では女性議員の活躍を知ることにつけ、首都近郊の地方議会らしい特徴が加わった。</p> <p>自宅に届く党派や何人か個人の「市議会報告」で、現在の市政の諸問題の情報を得ることができ、活発な議会活動を知ることができるようになっている。</p> <p>以上の半世紀近くに近い和光市議会の変動の姿は、後期高齢者として、筆者の一住民としての印象であるが、議会活動の進化を感じてきた。不祥事による前市長の責任追及から、今回の市長選挙によって、最初の女性市長の誕生は、和光市民の信頼すべき選択であったと考えている。</p>	<p>総合振興計画つまり市政の運営の方向性は、和光市の現在(いま)をうつつしだすためには必要な事項なので、議会活動を掲載するよりも市の現状を表していると考えますので、原稿どおりとします。</p> <p>市議会議員選挙の詳細な投票結果や会派の構成、歴代議長の氏名などは掲載することを考えませんが、市民生活の変化に合わせた議会の変化や女性議員の活躍などを掲載します。</p>

「和光市の現在（いま）をうつつしだす」の意見に対する決定事項

項目	意見・要望	和光市史編さん委員会 決定事項
	<p>基本方針の(2)で「政治史・行政史からの視点だけでなく、」の影響で市議会の運営経過が不十分となっているのかもしれないが、重ねて指摘するが平成市議会の説明の記述が、制度と定員削減の経過に終始の印象が強い。前回の「和光市の歴史(かこ)をふりかえる」の前市史の再編部分の記述が詳細で、今回の歴代市長の政策と市議会の経過の記述が貧弱に感じてしまう。</p> <p>議会関係者の感想や意見も知りたい。</p> <p>市政の担い手と方向性の各項目配置と順序に、繋がりとし市政の重要性による位置付けの工夫があっても良いと思う。上述の市長と市議会が地方自治の根幹であり、市史の記述の流れとして、その項目が箇条書き的で木に竹を接ぐ印象で読んだ。</p> <p>「総合振興計画の変遷をたどる」の経過と、市庁舎・文化センターの建設、広沢複合施設整備・運営事業、行政改革の歩み、健全成長を続ける和光市の財政、各項目と第1～5次の振興計画の流れとの有機的な関連が分かりづらく、その整理が必要である。できれば各次計画と項目の実行や達成をまとめるのが良い。</p> <p>文章の内容については、図と写真の配置の組み合わせで、かなり印象が変わると考えているので、今回は指摘しないが、市史としての最重要課題である、市政の記述の核心として政治と行政の流れとして理解するには、十分な検討が必要であろう。</p>	<p>議会は立法機関であり、その部分を重点的に記載するより市民生活を中心に記載します。</p> <p>総合振興計画は和光市の歴史を端的に表しているなので、その計画に基づいて様々な事業がなされているので、達成度など細かい記載は市史では必要ないものと考えますが、市の計画に市民が関わってきた経緯などを掲載します。</p>
	<p>2. 経済の成長と新しい潮流、産業の本田技研と理研の存在と商工会や都市農業の各業者の活動は、市民として日常生活で身近に感じ、和光ブランドと鍋グランプリもその延長で、前者の表示では初めて知るものもあるが、後者は成功した企画例であろう。トピックの農業は現状をよくまとめているが、アニメについては知名度の有無も含めて判断能力がないが、個人の登場も多く掲載で、写真等の使用ではプライバシーの問題に注意が必要である。</p> <p>3. 生活基盤の整備と暮らし、と6. 変わりゆく街のすがた、の記述の関連が強く、総合的にまとめられると理解しやすい。</p> <p>和光在住45年の記憶が重なり、旧和光駅と踏み切りや駅近くの畑と工場跡にイトウヨーカ堂の開店から、現在の新和光駅ビルまで平成から令和の新住民には想像するも難しい変化で、それを伝えるのが本市史の使命なのであろう。</p>	<p>ご指摘のとおり、プライバシーや著作権等に配慮して作成に努めます。</p> <p>和光市駅前の変遷の写真を多く取り入れるなど、和光市の歴史を分かりやすくかつ興味を持たれるよう工夫して編さんします。</p>

「和光市の現在（いま）をうつつしだす」の意見に対する決定事項

項目	意見・要望	和光市史編さん委員会 決定事項
	<p>4. 社会福祉の充実に向けて、5. 教育の向上とスポーツ・文化の振興、7. 災害との向き合い方と安全な暮らし、</p> <p>現在の市民達の関心の高い問題を知る基礎的な資料として必要な項目である。</p> <p>以上の各章の名称と、項目別の記述の内容が、相互に入り混る印象で、経済・生活基盤・福祉・教育・街の変化・災害と安全の各項目が、各個別の箇条書的で全体の読み物としての流れから見ると、構成や前後で重複の記述と見える部分もある。</p> <p>文章と図・写真との関係で、その印象が解消できるかもしれないが、次の両者の比較できる状態の機会で判断したい。</p> <p style="text-align: center;">鈴木 敏弘</p>	<p>ご指摘を踏まえ、今後の作業を進め、読んだときに分かりやすいような組み立てに配意して作業を進めます。</p>

委員名 田中 俊

「和光市の（いま）をうっしだす」の意見に対する決定事項
記載内容に合わせた写真等

和光市史編さん委員会 決定事項		初校ゲラ作成に向けて、ご意見を参考に適切な写真を掲載します
項 目	ご意見・ご要望	原稿該当ページ
記載内容に合わせた 掲載内容・図版等の 意見・要望	庁舎全景、サンアゼリア大ホール	P 1 2
	広沢複合施設（各施設）	P 1 5
	アグリパーク（畑の風景）	P 2 9
	ニッポン全国鍋グランプリ	P 3 5
	和太鼓和光太鼓	P 3 7
	外環蓋かけ上部利用（総合福社会館、新倉北地域センター）	P 4 4、5 5
	副都心線全線開通（和光市駅でセレモニーがあれば）	P 4 5
	和光市駅南口地下自転車駐車場	P 4 7
	越後山土地区画整理事業、松之木島区画整理事業の光景	P 4 8
	和光市南浄水場（全景、コンピューター室）	P 5 1
	コミュニティバス	P 5 3
	福祉の郡（全景、デイケアの様子）	P 5 7
	総合福社会館（全景と施設内の特徴的な部屋、施設）	P 6 6
	和光兼好マイレージ（樹林公園でのウォーキングの光景と 歩数計を専用タブレットに歩数をチャージする光景）	P 7 0
	下新倉小学校（全景と校舎内の特徴、複合施設）	P 8 2
	清水かつら生誕100年記念碑、大石真常設展示	P 8 7
	和光市運動場（野球場全景、市民体育祭の様子）	P 9 4
和光スポーツアイランド（各施設）	P 9 4	
オリンピックの聖火リレーの光景	P 9 5	

項 目	ご意見・ご要望	原稿該当ページ
記載内容に合わせた 掲載内容・図版等の 意見・要望	本田技研硬式野球部の少年野球教室の様子	P 9 8
	自衛隊体育学校の施設(撮影が許可が得られることが前提)	P 9 9
	新倉ふるさと民家園(古民家の全景と屋内の様子)	P 1 0 1
	午王山遺跡	P 1 0 4
	ニホニウム記念石碑等	P 1 0 6
	和光市駅ビルの全景	P 1 0 9
	ロングビュー市と和光市民の交流光景	P 1 2 7
	和光市清掃センター(全景、コンピューター室)	P 1 4 4
	県営樹林公園(主な公園内の風景)	P 1 5 1
	越戸川の清掃活動状況と親水施設設置状況)	P 1 5 3
	白子の湧水	P 1 5 5
	和光消防署(全景と訓練の様子)	P 1 5 6
和光市駅北口立体駐車場(駐輪場)		

委員名 牧田 忍

「和光市の現在(いま)をうつしだす」の意見に対する決定事項

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
	読み通した印象としては市史というより、辞典に近い感じがします。市の制度や政策、事業の取り組みに際しての根拠が網羅的に示されており、詳しい部分はためにもなるのですが、行政用語や、いわゆるテクニカルタームあるいは横文字、指針や構想の羅列なども多く、こどもから大人まで親しめる読みやすい市史という基本姿勢からは大きくかけ離れている気がします。中学生の社会科教科書レベルをこえる内容については、記述をかみ砕いたり、図やグラフを用いて「見える化」したり、註や索引を充実するなどの工夫を期待します。	
P 2	下段 7 行目 手腕も評価されるべきである→行政手腕や歴史的評価は人それぞれなので、べきであるという記述は強い表現と感じます。	「できよう」と修正します
P 3	「和光方式」と称される本市の介護政策の基礎が作られた…ハードからソフトへの転換期を先導…→田中市政も松本市政も市独自の福祉施策に関して「和光方式」の語を用いてますが内容も実態も大分異なります。田中市政でも「和光方式」は実施されています。しかし、田中路線の延長線上に松本市政の「和光方式」があるわけではないので、下段 7 行目の、後に、は削除が好ましいと感じます。下段 9 行目、ハードからソフトへの転換期を先導→ 田中市政→野木市政→松本市政においては官民を問わず大規模な都市計画や公共事業等、ハード面の推進も著しいです。	6行目以下を次のように修正します 介護保険制度発足は平成一三年まで三期続いた田中市政三期目のときであった。田中市政は、福祉政策をハードからソフトへ先導し、後に「和光モデル」と称される本市の介護政策の礎をつくった。
P 4	上段部、18行目。住民投票の結果…→住民投票は朝霞・志木・新座でも行われており、和光市だけが大多数で否決となりました。各市の住民投票の結果比較と合併反対を望んだ和光市民の意識、事由の記載は大切だと思います	後ろから9行目の次に以下のとおり追加します 合併の可否について朝霞地区四市でそれぞれ住民投票を行い、その結果和光市以外の三市は合併に賛成であったが、和光市民は大多数が合併することに反対した。

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
P5	<p>上段部、17行目 田中市政における「和光方式」は医療費負担軽減や健康診断の補助や診断内容の充実といった予防医学、先駆け的な福祉の里の充実があげられます。松本市政は都市型の地域包括システムの徹底した構築と介護保険の卒業が全国的注目されて一般的には「和光モデル」と呼ばれました。松本市政でも初稿にある「和光方式」も使われることもあります。が、「和光モデル」が一般的だと感じます。和光方式という語義には、田中市政的なもの・松本市政的なもの・一般的に用いる和光市オリジナルと言った多様な語意を含むので、使い分けに気をつけてください。</p>	「和光モデル」とします
P 8～12	<p>総合振興計画の変遷をたどるの項は文字だけではわかりづらいです。広報わこうで見かけるような図表を用いて視覚化する工夫。時代のニーズと総合振興計画の変遷がわかるような見える化を図ってください。</p>	<p>総合振興計画は、市政運営の基本を定めて、それを計画期間の10年で実行していくものなので、時代の趨勢に合わせて計画が策定されていることを網羅的に示しているので、図や写真はその一部のみ掲載となります。</p>
P 1 3	<p>上段、中あたり。米軍パン工場の写真を掲載していただきたいです。他の項目と重なりますが、米軍跡地つながりとして総合体育館が米軍跡地だった頃の写真。いわゆる第四小学校通学路の写真も掲載願います。</p>	<p>写真については、現存すれば掲載したいと思います</p>
P 1 5	<p>最後→「おふろの王様 和光店」は業者名の掲載は公正・中立の姿勢にそぐわないと感じます。</p>	「おふろの王様 和光店」を削除します
P 1 7	<p>下段8行目。行革→行政改革</p>	修正します
P 2 0	<p>上段10行目。研さん→研鑽（読みやすさへの配慮ならば研さんOK）</p>	「鑽」が常用漢字外なので、「研さん」とします
P 2 1～ 2 3	<p>健全成長を続ける和光市の財政→文字だけではわかりづらいです。広報わこうで見かけるような図表を用いて視覚化する工夫。時代背景と財政の変遷がわかるような見える化を図ってください。</p>	<p>税収の伸びや一般会計の伸び、財政力指数の変化などを年度を追って把握できるような表を作成したいと考えます</p>

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
P 2 4	開発と南北問題→いわゆる南北問題については理解しています。この言葉は当初稿の随所に散見されますが、ミスリードや市民間の分断や対立を招きかねない言葉でもあります。交通の利便性や施設の偏りは、市域の南側でも利便性に乏しい地域もあり、市域は東西でも地域格差は存在するので、表題にはふさわしくないと提言します。南北問題は朝鮮半島やアメリカ合衆国に根深い爪痕を残した用語とも重なる言葉でもあります。軽く使用する言葉ではないと感じます。南北問題に関しては、原則、市域北側と南側の地域的格差（利便性の差）が穏当だと思います。必要に際しては「南北問題」やいわゆる南北問題、南北問題と呼ぶ人もいる、という消極的な記載にとどめることを望みます。	「市域北側・南側の地域的格差（利便性の差）」とします
P 2 7	上段9行目 やや古いが→データはやや古い が… 経済センサス→註が必要	修正します
P 2 9	上段うしろ3行目 低減→提言 都市農業のどこかに専業農家と兼業農家の比率と推移を載せてください。	「提言」修正します 専業農家と兼業農家の定義が変わっているため、比較できない状況です
P 3 5	上段うしろ5行目 通常の祭りは終わった後にゴミの山となるが→蛇足 削除	「祭りが終わった後のゴミをできるだけ少なくするように徹底的に環境性を追求」と修正します
P 3 7	下段後ろから10行目 フィルムコミッションに註が欲しい。フィルムコミッションが市の収入に活かされていることや市民の話題としても機能していることにも触れてください。	註を追加して説明します 収入や市民の話題としては貢献は少ない状況ですので、現在の表記に留めます
P 3 8 ～3 9	和光理研インキュベーションプラザと期待される新産業の記載について。和光理研インキュベーションプラザの支援は、場所の提供から共同研究、データ提供、ベンチャーの育成など範囲が広いです。どの程度、和光理研と関わりがあるのか、どのような支援を受けたのか、理化学研究所との関連を市史掲載してよいものなのか。特許や商標、契約内容、組織イメージにもかかわる事項なので、プロジェクトリーダーが責任をもって理化学研究所広報や各企業にも当該初稿の記載内容を必ず確認してください。	「和光理研インキュベーションプラザ」は埼玉県主導の事業です。理研と個々の企業との関わりは公表されていませんが、理研は技術的な協力をする事となっています。理研関係の許諾は、今後確認します
P 4 3	清水さんや長谷見さんは市域の事業にも出演しています。こうした著名人と和光市のかかわりを記載してください。	個人の紹介は原稿程度とします
P 4 7	土地区画整理事業前と後の写真を比較で掲載してください。	掲載します

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
P 5 2	下水道について、後述の越戸川や谷中川、白子川がキレイになったのは住民の意識や企業努力もあるが、下水道の整備による側面が大きいので、この箇所にも下水道と市域河川の關係に触れて欲しいです。	後ろから10行目の次に、次の一文を追加します。 後述する「白子川と流域の水環境」でも触れますが、下水道の普及は市内の河川の浄化に貢献しています。
P 5 3	上段うしろ3行目 こうした「」書きや…のようなど定義だてした「南北問題」が無難な記載である感じます。これならばOKでしょう。	
P 5 5	下段3行目 新庁舎建設時に今日でいうところの「南北問題」が存在していたかは不明。上述と繰り返しになるが、南側にも利便性の問題があります。牛房出張所も作られていることを考えれば、南北問題の解消ではなく、地域の利便性の確保を目指し、のような表現が穏当だと感じます。	「今までより遠くなる地域の利便性の向上を目指し、」と修正します
P 5 6	下段8行目 ファサード部分→カッコいい表現ですが難しい言葉です。註を付すか削除したほうが読みやすいと思います。	「ファサード部分を構築するような」を削除します
P 5 8	上段うしろから2行目 田中市政における福祉重点化政策が、次の時代の松本市政の高齢者福祉の仕組み作りにつながった、という文脈ならば「和光方式」よりも「和光モデル」が一般的だと思います。	修正します
P 5 8	下段8行目 社協→和光市社会福祉協議会 県にも地区にも社会福祉協議会はあるので略さないほうが誤解を招かないと思います。	修正します
P 6 0	上段 本文6行目・・・決してそんなことはない…冗長的な感じがします。	「聞くことがあるが、実施主体は市区町村であるので、さまざまである。」に修正します
	上段うしろから11行目 ここでは文脈的に「和光方式」でよいと思います。	
	下段3後ろから13行目 小見出しが要支援・要介護となっているが、本文は要介護・要支援となっています。P 6 1 上段14行目も要介護・要支援となっているので統一を願います。	「要介護・要支援」で統一します

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
P 6 1	上段5行目 滞在した。→施設内をご観覧された。がよいと思います。 行政、市民、事業者、ケアマネジャー等→行政、市民、事業者、ケアマネジャー、福祉従事者等 福祉従事者は加えてください。	「滞在した」は、該当する記載なし 「福祉従事者」を加えます
	本文上段最後。アミューズメントカジノ→おしゃれな表現ですが、ゲームセンターや違法ゲーム賭博にも使用される言葉であり、削除するか適切な文脈の中で用いるか他の表現に変えてください。	「ルーレットなどのカジノ」に修正します
	下段13行目 事業間の連携→文脈的には、場を強調されているので、事業所相互の連携が、適当だと思えます。	修正します
	下段18行目 地域包括職員？ 地域包括ケア課の職員のことか、地域包括ケアセンター職員のことか、長寿あんしん課や和光市社会福祉協議会あるいは地域包括ケアに携わる事業所職員、誰をさしているのか不明です。	「地域包括支援センターの職員や市職員」に修正します
P 6 2	上段10行目 地域包括職員ケアマネジャー？ 地域包括ケアセンター職員や居宅介護事業所ケアマネジャーのことか、地域包括ケアセンターに配置義務のある主任ケアマネジャーのことか誰をさしているのか不明です。	「地域包括支援センター職員」に修正します
	市域には「サービス付き高齢者向け住宅」以外にも、「有料老人ホーム」もあります。「有料老人ホーム」も法や理論、制度上は自立判定の高齢者が居宅として利用することは可能なので、文中のどこかに「サービス付き高齢者向け住宅」以外にも、「有料老人ホーム」もある、という趣旨の記載をいれてください。	
P 6 3	上段6行目 地域密着型サービスの語意には文字通りの地域密着型サービスと制度上の地域密着型サービスがあります。上段6行目の地域密着型サービスは良いのですが、上段6行目の「介護予防小規模多機能型居宅介護」も制度上は地域密着型サービスなので、地域密着型サービスの記述のあとに、また、という接続語を用いて「介護予防小規模多機能型居宅介護」を述べるのは誤解を招きます。本文中の「介護予防小規模多機能型居宅介護」の和光市の目的とされる記載は「介護予防小規模多機能型居宅介護」制度の趣旨としては逸脱しています。文面を法、制度と照らし合わせて再考を願います。	「居宅サービスの基盤整備を充実」の項の文頭に、「和光市内には有料老人ホームはあるが、」を加え、全文を別紙3の62ページのとおり修正します
P 6 4	上段うしろから11行目 「和光モデル」→その通りです。ようやく落ち着きましたね(笑)	

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
P 6 5	下段うしろから7行目～ 統合型地域包括や共生社会を述べているならば、ソーシャルインクルージョンという言葉とその意味も加えてください。	原稿のとおりとします
P 6 5. 6 7	P 6 5 地域福祉と障害者福祉の現在 P 6 7 障害者福祉のいま→ 障がい者福祉 障害者自立支援法はママ 初稿本文中の障害者記載には文脈や歴史的背景、法律などを配慮して慎重に願います。	「害」は常用漢字でありながら、「害」にマイナスイメージがあることから「障がい」と表記している自治体もありますが、政府が発行する書類などでは常用漢字である「障害」が使われています。和光市は条例や計画などで「障害者」を使用しています
P 6 7～ 6 8	今までの初稿の累積、あるいは今回の初稿を通観して、和光市は福祉が充実したまちである記載は相当数におよび、DVや男女共同、いじめを含め多岐にわたっている点は理解しています。その一方、精神障がい者福祉に関する記載が皆無に等しく、等閑視の実態があるといえます。歴史において記録がないことは存在証明が無いのと同じです。ゆえに、前初稿において、精神保健福祉法が制定される以前から任意団体として出発し、NPO法人格を得て精神保健福祉を地道に行っている数少ない団体の活動の記載を求めましたが、特定の団体の掲載はしない趣旨の対応でした。組織決定には従いますが、私の趣旨と人権教育を所管する課でもある編集委員会との意識差、人権感覚について感じ入るものがあり残念です。当、初稿では障がい者のいま、という項目をうたっているので、和光市における精神保健福祉にも光をあて制度や政策について歴史、取り組み、今後の展望の具体的な記載も他の福祉同様に手厚くお願いいたします。	障害者については、精神障害、身体障害、知的障害など様々な障害の制度的変遷と市の行ってきた対応を中心に記載しています
P 7 2～ 7 5	子育て支援かネウボラのあたりにシングルマザーやひとり親についてふれてください。	初校ゲラに掲載できるよう調整します
P 8 0	教育関係のどこかに、こどもの貧困・貧困の連鎖に対応した取り組みを載せてください。P80の後半あたりが配置の流れ的には良い気もします。	初校ゲラに掲載できるよう調整します
P 8 6	タイトル 涯学習→生涯学習	修正します
P 1 0 8	下段うしろから3行目 巨艦団地？	削除します
P 1 0 9	下段末尾。 これが実現すると…逆転する可能性… →冗長的。蛇足。想像。。削除が適切。	削除します
P 1 1 1	下段うしろから2行目 では→では	修正します

	意見・要望	市史編さん委員会決定事項
P 1 1 6	この項目でDVにふれるのであれば、男女共同参画にとどまらず、ジェンダー、LGBTについて述べる重要性を感じます。	「配偶者から身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けている被害者」と限定した記載をしていますが、初校ゲラに向けてLGBT等についての掲載できるよう調整します
P 1 1 8	下段末尾あたり その一方で…P 1 1 9冒頭…多くあった。→この記載は後に続く問題点に含まれると思います。	修正します
P 1 3 2	中立・公正の原則を順守するならば、鈴木製麺所が製造するは削除が原則。和光産ブランドとして別表に掲載鈴木製麺所は掲載されることも考慮。本田技研やスーパーマーケット、理化学研究所インキュベーションプラザについては一定の公共性や文脈から判断して社名記載の必要性はあるとは思いますが。	「鈴木製麺所」は本文から削除します ご意見を踏まえ、和光ブランドの一覧表は削除し、別紙3の33ページのとおり、本文中に認定商品名を掲載します
P 1 4 4	こうした和光市の速やかな対応は新治村に喜ばれ…交渉の取引条件が喜ばれたのか。地主や土建業、廃棄物処理関係者に喜ばれたのか。村長に喜ばれたのか。村民に喜ばれたのか。自治体に喜ばれたのか。いずれにせよ極めて無礼で不穏当な記載と感じ、削除を求めます。	下段中央 「こうした和光市の速やかな対応は新治村に喜ばれ」を削除します
P 1 4 8	下段8行目～ EMに関しては批判も多く、市当局の科学データも乏しく田中市長退陣の遠因ともなりました。EMの記述はP 1 4 6にも散見されますが、市をあげてEM事業に取り組んでいたのは田中市政の一時期であり、それが機会となり環境対策やごみの減量化につながったかのような記述は改めてください。	一時期とはいえ、市が市民と一緒にごみの減量化に取り組んだことは、後のごみの分別やリサイクルなどの循環型社会の構築につながる施策でありますので、原稿どおりとします

「和光市の現在（いま）をうつつしだす」の意見に対する決定事項

<p>和光市史編さん委員会 決定事項</p>	<p>初校ゲラに向けて、ご意見を踏まえて修正します。</p>	
<p>項 目</p>	<p>ご意見・ご要望</p>	<p>原稿該当ページ</p>
<p>もう少し詳しく記載した方が良くと思われる部分の指摘</p>	<p>【全体的な印象と是正すべき点】</p> <p>① 第一節「政の担い手と方向性」から第七節までの節・項構成は、テーマが満遍なく取り上げられおり、バランスがとれていると感じた。</p> <p>② ただし内容面から見ると、第一節～第四節については市政の PR 的側面が強く、市民の声や姿がほとんど取り上げられていない。市政に対する市民の反応を積極的に記載する必要がある。</p> <p>* 立案された計画に基づいて実施された政策の推移は丁寧に記されていて分かりやすかった。しかし、その施策の結果、いかなる成果が生まれ、どのような課題が残ったのか、また、市民の政策に対する反応はいかなるものだったのか(不満も含めて)、この辺りが書かれていないので、</p> <p>③ 文末表現に同一語を用いることが多いため、また体言止めなどもあって、箇条書き風の印象を受けた。限られたスペースのなかに多くの 事項を記左図を得ないため止むを得ない場合もあるが、工夫が必要であろう。</p>	
	<p>【個別的な問題】</p> <p>市政に対する市民の反応について</p> <p>① 先にも記したように、市政に対する市民の反応がほとんど描かれていない。個々の項目ごとに市民の動向などを記載することが望まれる。</p> <p>以下の例を参考にして下さい(特に介護保険制度)。</p>	<p>全体</p>

<p>基地跡地利用について</p> <p>① 基地跡地利用に関する市民の要望などを記載する必要あり。</p>	<p>55 頁～</p>
<p>介護保険制度について</p> <p>① 介護保険事業のプランと実態</p> <p>② 高齢者等の反応や感想</p> <p>③ 理念通りに機能しているのか?</p> <p>④ 問題点や矛盾点</p> <p>以上の諸点についても言及する必要がある</p>	<p>60 頁～</p>
<p>人権・男女共同参画社会について</p> <p>① 女性の進出が遅れている部門について言及されたい。</p> <p>② 上記の理由についても、多少の記述が必要。</p>	<p>113 頁～</p>

項 目	ご意見・ご要望	原稿該当ページ
<p>記載内容に合わせた掲載写真・ 図版等の意見・ 要望</p>	<p>初校までに考えておきます。</p>	